

Welcome to 沼土

令和 5年 6月 1日

編集発行：静岡県沼津土木事務所

御殿場支所

【事業名】 道路維持（富士山登山道維持）事業

【事業概要（効果）】

富士山（標高3776m）は日本のほぼ中央に位置し、その高さで美しさから古来より多くの信仰を集め、日本を代表する山として日本人のみならず世界的にも有名な山です。誰もが一生のうちには一度は登りたいと憧れ、毎年7月～8月のシーズン中には各地より25～30万人の登山客が訪れますが、その登山道の殆どが県道であることはあまり知られていません。4つある富士山登山道のうち、須走ルート【（一）足柄停車場富士公園線】及び御殿場ルート【（一）富士公園太郎坊線】を管理する御殿場支所では、毎年、富士山登山道を良好な状態に保ち、登山客の安全を図るために様々な維持・整備活動を行っています。



【事業計画】

◎道路維持（登山道整備年間事業費（R5）：C=55,000千円）

（一）足柄停車場富士公園線：（須走口登山道整備）

（一）富士公園太郎坊線：（御殿場口登山道整備）

【事業内容】

1. 登山道の補修

路面整備、登山道案内標識等の設置、逸脱防止の為にロープ柵設置

2. 残雪調査

毎年6月下旬に実施。7月10日の山開きに向けて、登山道の残雪状況や、雪解けによる登山道の損傷状況を調査します。（一）足柄停車場富士公園線（須走口）は8合目以上で山梨県との共同管理となるため、例年山梨県と合同で調査を実施しています。



（一）足柄停車場富士公園線（ふじあざみライン）



◎登山道パトロール

7月～8月にかけて通常7回行う土木事務所職員による登山道パトロールを実施。

通常4～5人で火～水曜日の1泊2日で須走口登山道と御殿場口登山道をパトロールします。

◎近年の取り組み

富士山登山道に設置する案内標識について、富士山全体で統一化を図るため、国及び山梨県、静岡県との両県で関係者で構成する『富士山標識関係者連絡協議会』で富士山における標識のあり方ガイドラインを作成し、標識類の統一化を図っています。